

令和3年度

総合型地域スポーツクラブアドバイザー 活動報告（7月～9月）

7月

＜福井県連絡協議会第1回役員会＞

役員が変わって初めての会議でした。今期のメンバーも多方面で活躍している方が多いので、総合型クラブの発展に大きな力になると思います。役割分担を明確にし、協議を重ねていきたいです。

コロナ禍の中でも、地域全体のスポーツ体制は少しずつ動き出そうとしています。スポーツ環境の基盤強化が進む動きに、総合型クラブはどう関わっていくのか互いに意見を出し合っていきたいです。

まずは、各クラブ、登録・認証制度をスムーズに導入できるようにしていきましょう！



＜地域に寄り添う総合型クラブへ＞

市が主催するスポーツ教室で総合型クラブの講師が指導を行いました。夏休み中の期間限定の教室には、多くの子どもたちが集まりました。丁寧で楽しい指導は見ている保護者の方にも好評だったようで、「次回が楽しみです」と嬉しい声を聞くことができました。期間限定の教室を終えた先に、総合型クラブに加入して運動を続けていく子どもたちが増えたらいいなと期待しました。このような委託事業に関わることは、総合型クラブをアピールし、会員を増やすことに繋がるいいチャンスです。

地域に必要とされている総合型クラブを目指していきましょう！



スマイ輪 ING スポーツクラブ
かけっこスクールは毎回人気です！

8月

<クラブの将来設計>

今月は全国的に新型コロナウイルス感染者が増加し、国体の中止や甲子園で出場校が辞退するなどの動きがありました。オリンピックやパラリンピックで活躍する選手を見て、スポーツがしたい、試合がしたい、体を動かしたいと気持ちが高まっている方々にとっては、我慢の日々が続きます。

県内クラブの多くは設立から5~10年ほど経っていますが、今が一番経営に困惑している時期なのではないでしょうか。終わりが見えないコロナ禍の中で、会員に期待され続けるクラブでは、新しく将来設計を作る必要があると感じます。クラブを訪問し、スポーツを楽しんでいる姿を見ると力が湧いてきます。スポーツの力を実感した8月でした。



元気に活動中！
熱中症対策、コロナ対策は万全に！

9月

<行政との打ち合わせ>

県のスポーツ課と学校教育課、スポーツ協会の方と来年度の事業計画について打ち合わせを行いました。アドバイザーとして、各クラブの現状や将来設計について意見を出しました。

各方面から、様々なご意見と課題を聞くことができました。また、各クラブや市町担当者の意見も積極的に取り上げ、将来の方向性を再確認することが出来たと思います。引き続き、行政との連携を密にしていきたいです。

積極的な意見が飛び交います！



<クラブハウス探し>



クラブハウスは、クラブ活動の中心的な役割を担う場です。総合型クラブの持続的な発展を考えると、事務局機能だけではなく、会員の皆さんが立ち寄る場、ラウンジ、簡単な体操・ダンスなどができるスタジオなどを備えたクラブハウスが理想です。

今回は空き店舗になっている物件の視察に同行しました。学校が近く良い立地で、教室や会議も行えるスペースがあり、とても素敵でした。

<総合型クラブ市町連携支援研修会>

「令和3年度総合型地域スポーツクラブ市町連携支援研修会」に参加しました。

講師は新潟県長岡市スポーツ振興課の石川智雄氏、「総合型クラブと部活動連携について」をテーマに事例を基にお話をいただきました。研修後の質疑応答では沢山の質問があり、関心の高さを感じるとともに、それぞれの課題が見えました。

部活動連携は、地域の力が必要で、地域の環境に合ったやり方で進めることが大切ではないかと感じます。いくつかのモデルケースを進めてみてはどうか、と提案いただいたので、アドバイザーとして策を練りたいと思います。



<企業との連携>



社会福祉センターで行われた、「福井県卓球バレー交流大会」を視察してきました。

コロナ禍での開催でしたが、地域スポーツ振興への応援、ご協力があり県民福井・中日新聞社の主催で開催されました。

感染症対策が徹底された運営と、個々の予防対策への高い意識が感じられる大会でした。

総合型クラブの活動もしっかりアピールしてきました！企業や地域、次々と連鎖していくといいなと思います。